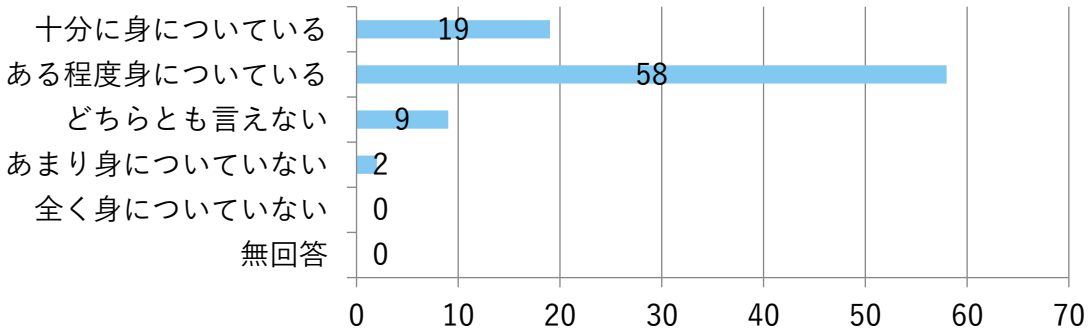
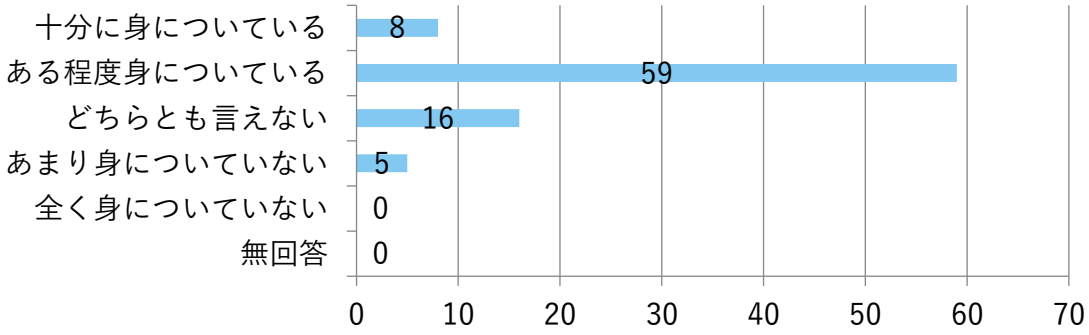
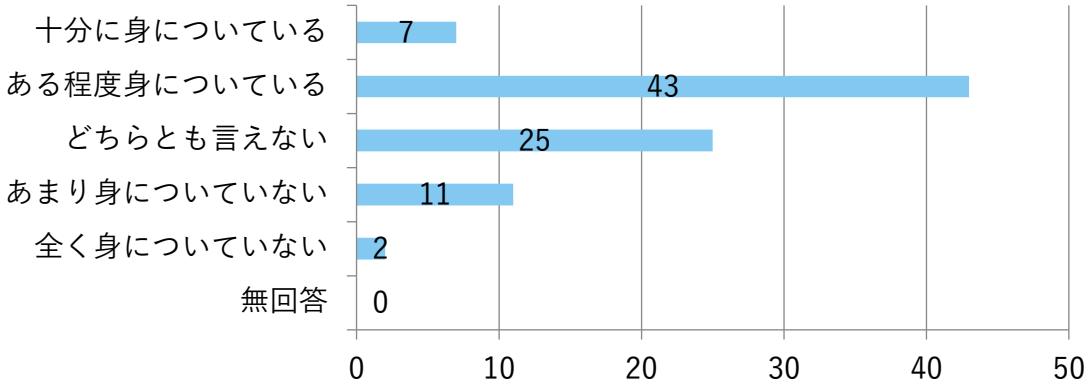
【到達度に関する現在の自己評価】
臨床において情報技術を利用し、
適切な情報源・エビデンスを活用できる



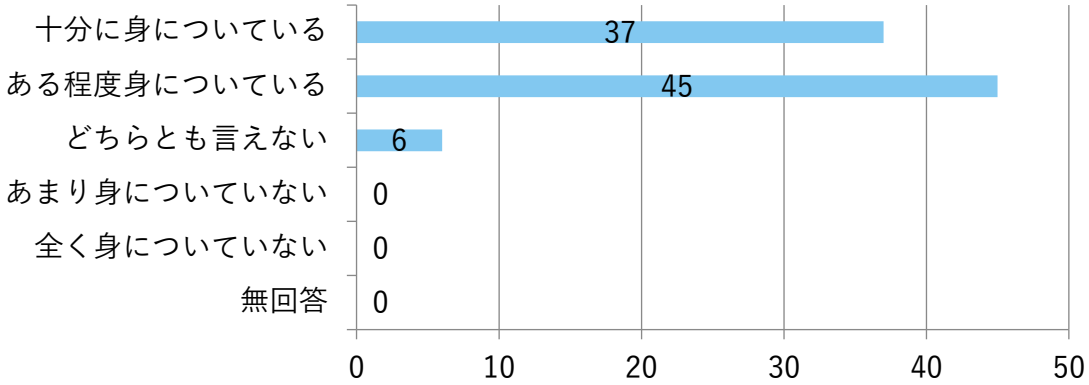
臨床推論を行い、適切で漏れのない鑑別疾患を挙げ、
適切な診断的検査法を選定し、適切に検査所見を解釈し、
適切な臨床診断に到達することができる



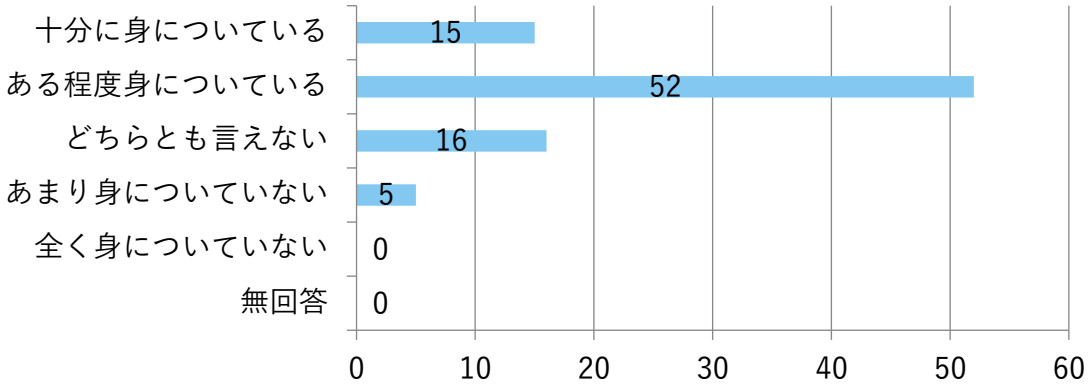
退院計画や患者教育を含めた疾患管理・予防計画の
策定ができる



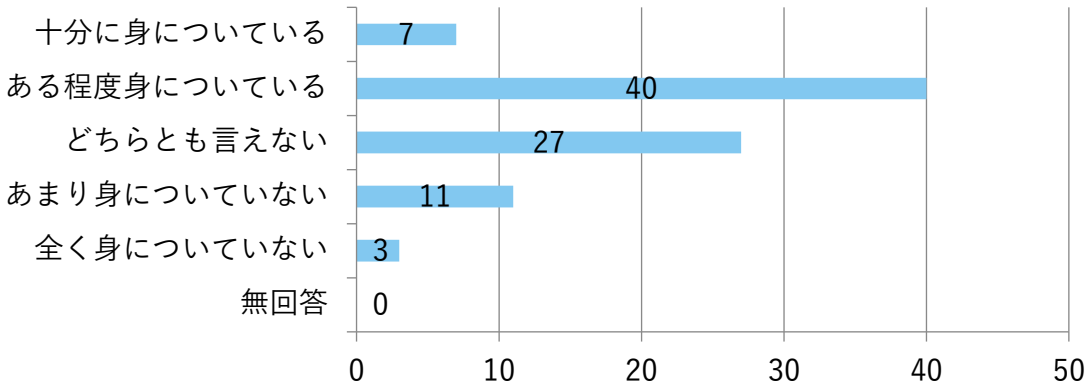
感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる



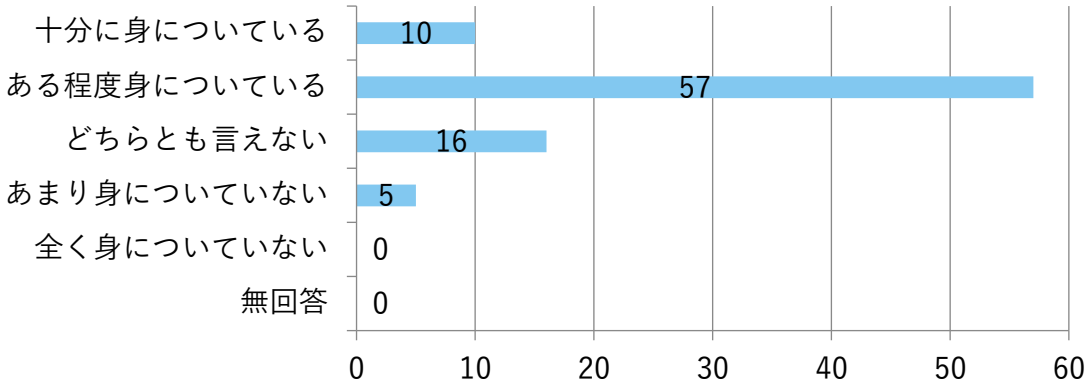
多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉制度を活用できる



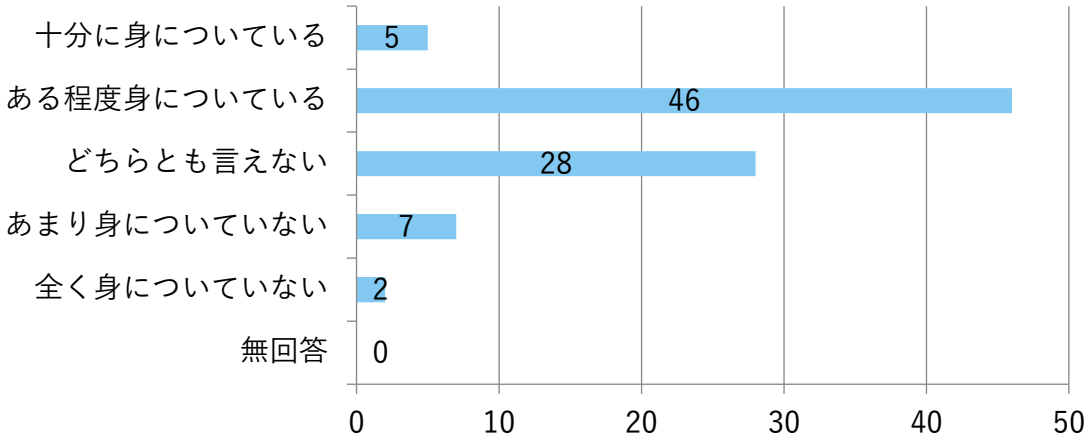
医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を実践できる



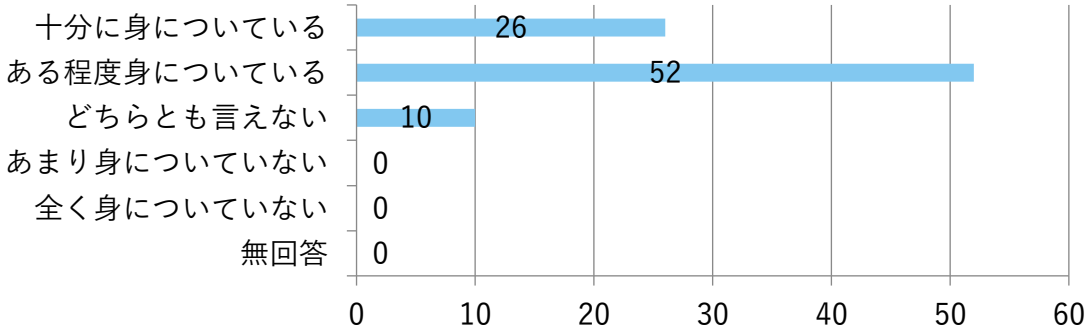
基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる



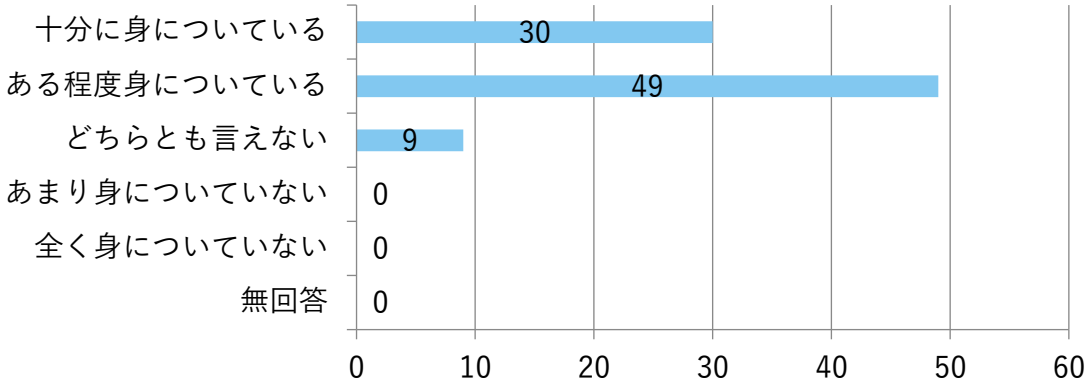
社会医学の知識を医療・保健活動に応用できる



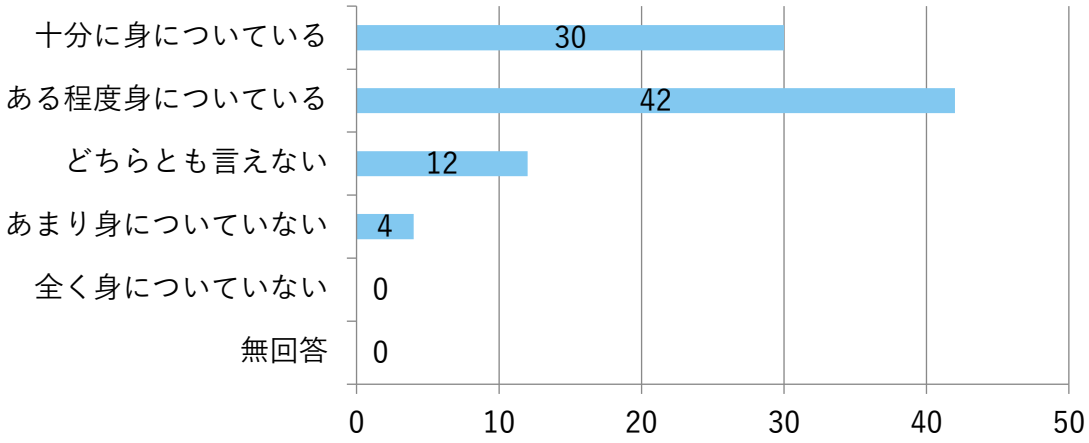
患者や患者家族と、誠実で、常に患者・患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる



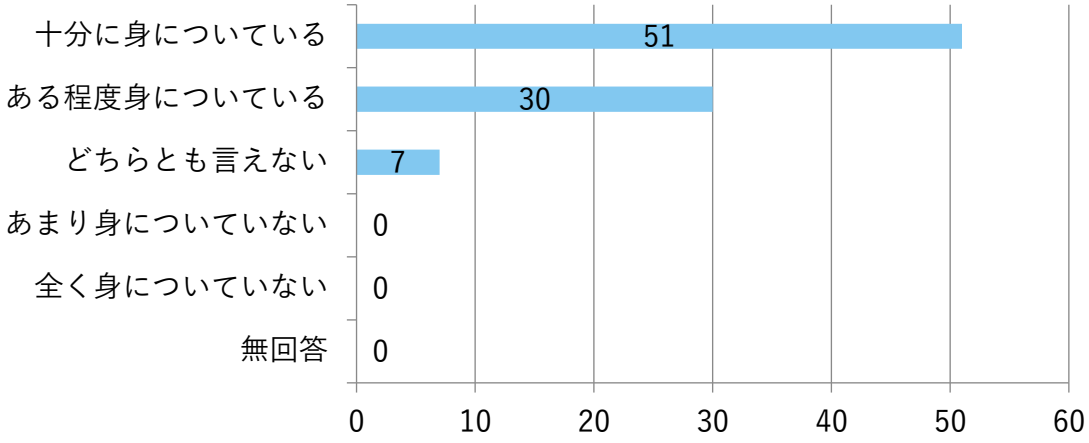
多職種チームのすべてのメンバーと、
敬意を払って効果的な議論ができる



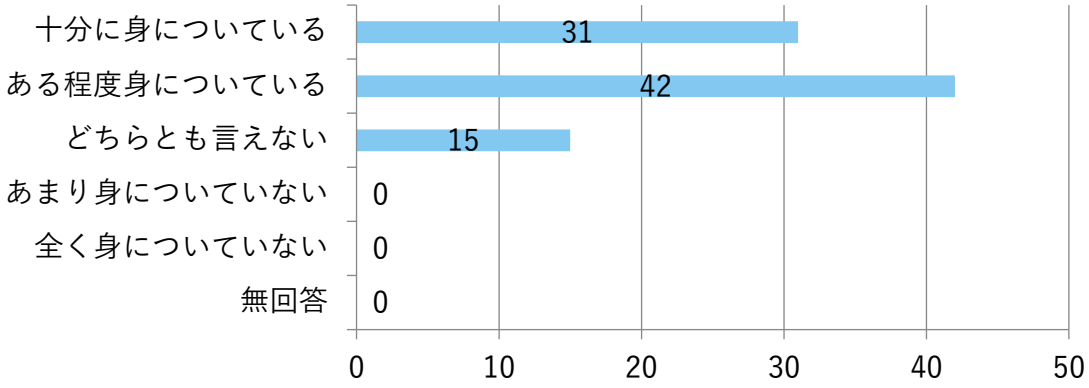
法律、所属機関の内規、専門職社会内規範を遵守できる



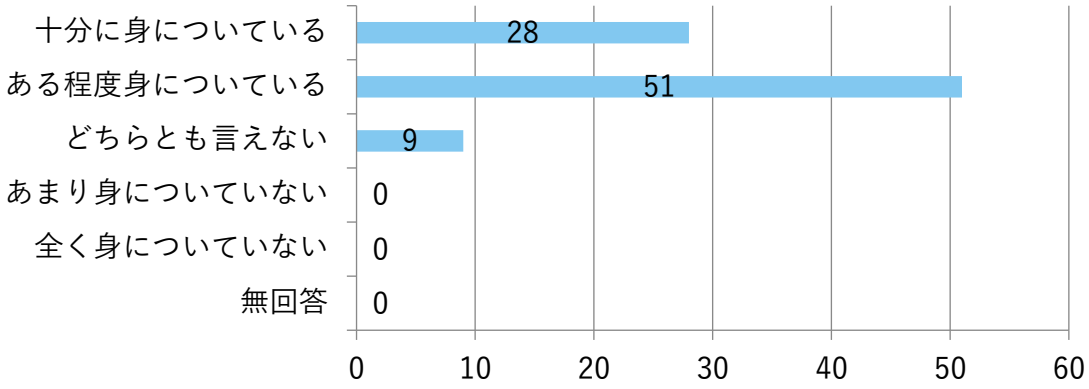
患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる



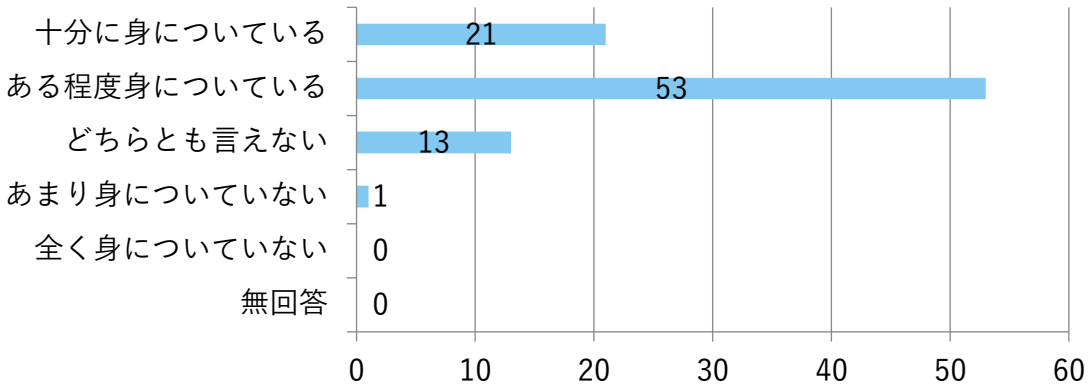
医療過誤、患者情報収集におけるエラーや、
データの誤った説明などを、指導者や監督者に報告できる



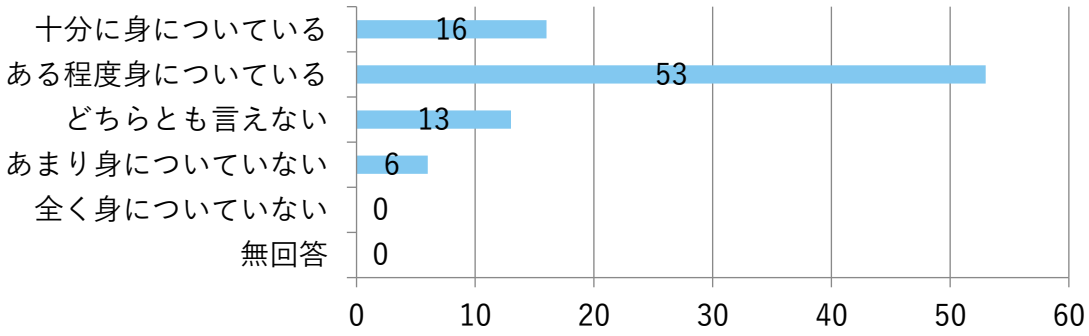
自身に対するフィードバックにもとづき省察し
自己改善を実現できる



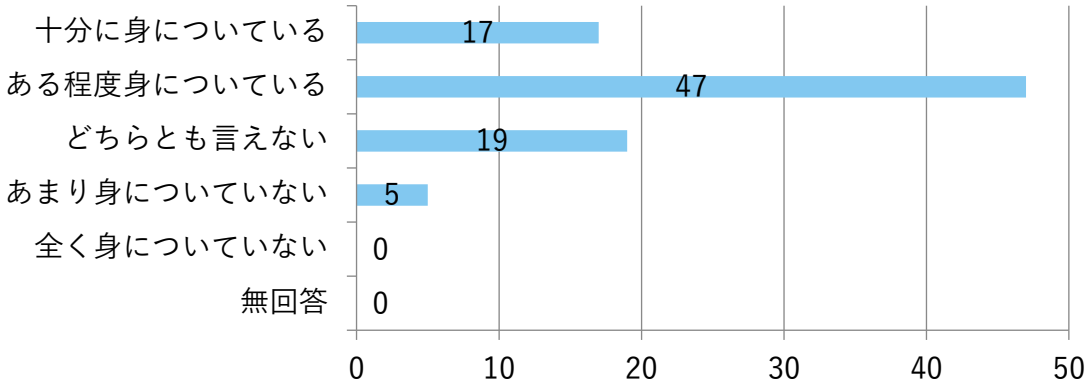
健康・医療に貢献する者として必要な、
幅広い教養と豊かな感性を持つ



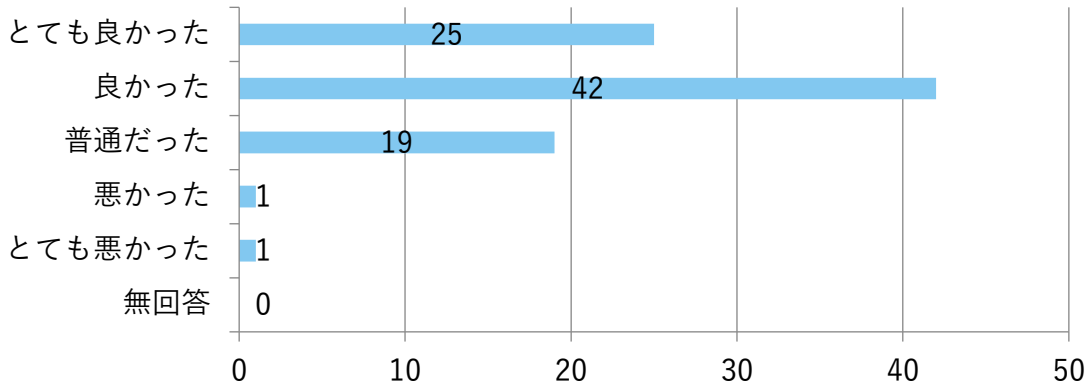
世界的に注目されている医学・歯学・健康に関する
主たるトピックについて精通するよう
情報収集する習慣を有し、議論できる



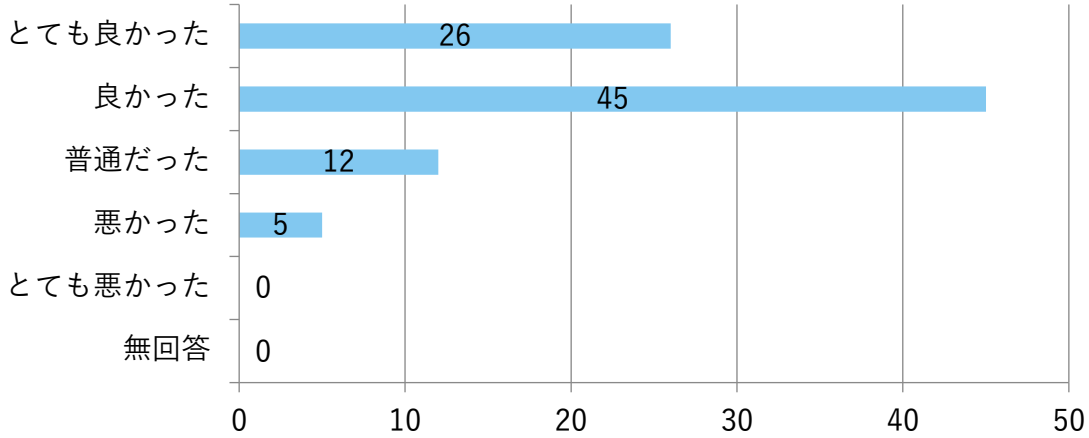
未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、
それを解決するための方法と資源を見いだすことができる



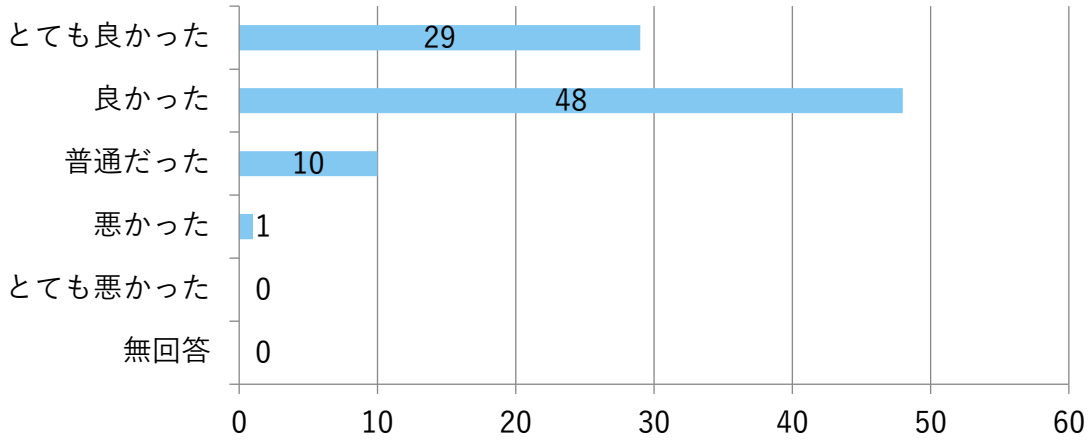
【大学に対する評価等】
教養部教育の総合評価



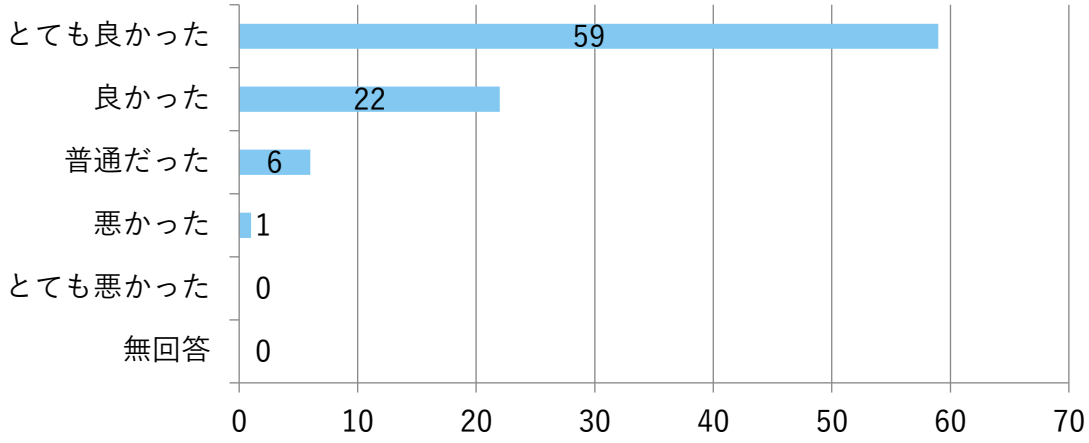
基礎医学教育の総合評価



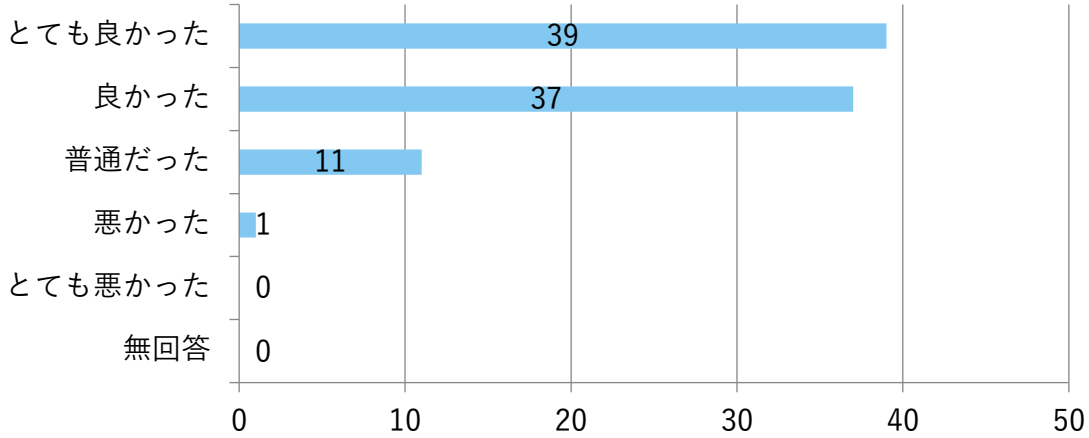
臨床医学教育（座学）の総合評価



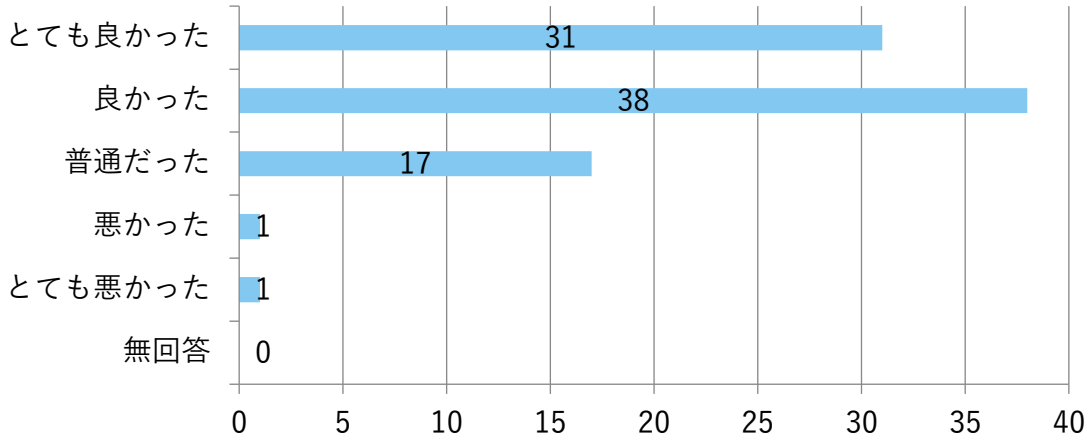
プロジェクトセメスターの総合評価



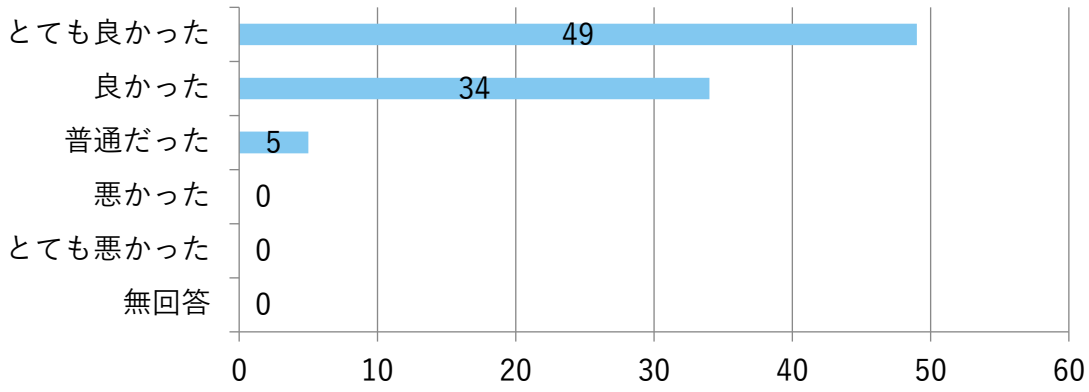
臨床実習の総合評価



チーム医療入門の総合評価



医学を学習する教育機関として本学を選んだのは良かったか悪かったか



本学での学生生活における満足度はどれくらいでしたか

